

公表:令和5年3月25日

事業所名 カンガルー療育支援室 セントラルステーション

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか				棚や机など移動して広いス ペースを作り下にマットをひ き利用しやすいように工夫し た	継続
	② 職員の配置数は適切であるか				配置は適切であるが、送迎 等ができる看護師が必要で ある	来年度は看護師の配置予定
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか				遊ぶスペース、食事をする スペース、午睡等休むス ペース等分けている。バリアフ リーになっていない場所もある が、基本的にバギーが通れ る場所は確保できている。 子どもの遊ぶスペースも問 題なし。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか				目標設定は看護師優先で立 ててきた。もう少し保育士等 の意見を聞きながらやってい きたい	保育士の意見も取り入れ目標 設定をしていく
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケ ート調査を実施して保護者等の意向等を把握し 、業務改善につなげているか				普段から保護者のご意見は 聞いてなるべく寄り添えるよ うに思っている。ただ、子 どもの身体的な問題でできな いこともある。 評価表を配布し業務改善を 行っていきたい	保護者の意向を聞きながらも まずは子どもの安全を第一に 考えていき、そこを保護者と共 有する。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか				ホームページに掲載を 行っている	継続
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか				第三者委員会を今年度やっ ていなかった。 コロナ禍も改善傾向にあるの で、次年度は開催を検討す る	来年度は第三者による外部評 価を取り入れていく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか				年に3回の研修行ってきた。 個人的に興味のある研修に も参加できた。次年度はもっ と計画的に行っていきたい	職員にどんな研修に参加した いかアンケートを取り、計画的 に研修に参加できるようにする
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか				計画は保護者にも確認を行 い適切なアセスメントができ たと考える。 保護者のニーズももっと聞い て取り入れていきたい	継続
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか				子どもの発達段階での アセスメントツールを使 い評価している	継続
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか				行っている	継続
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している か				月ごとの計画を立てて行っ ている。固定化しているもの あるので意見を聞き改善した い	ミーティング等を満に行い、常 に新しい活動プログラムを考え ていく
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか				平日、長期休暇に応じては 課題を設定していなかった。 課題があれば設定したい	今後は、平日休日長期休暇に 応じて課題を設定していく。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画 を作成しているか				ほとんど個別活動になっ ていた。集団でできるこ とを検討したい	週7回のプログラムの充実を図 る

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			子どもの担当がほぼ決まっている。 支援内容はわかるように紙に書いている。担当が変更になる場合は確認をしている。役割もほぼ決まっている	新しい職員が増えるので毎日ミーティングを行い確認をしていく。役割分担も行っていく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			問題点があれば、確認をし改善点があれば話し合い共有している。	振り返りも毎日行い、気づいた点を記録していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			個別に記録を取り、支援計画に反映させている	継続
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			子どもの状態が変わった時や何か大きな出来事があった時等アセスメントをしている	継続
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか			ガイドラインの添って支援内容を設定している	継続
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			相談支援事業所経由で入所をした方がいないので会議はしていない	利用者がいれば行っていく
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			問題なく行っている	継続
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			保護者を通じてや、文章のやり取りなどで連携体制がとれている。主治医が良いと言えば直接連絡も取ることがある	継続
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			就学前の事業所とは情報共有していなかった。必要であれば今後実施する	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			対象の子どもはいない	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			療育センターの開催する勉強会と見学会に参加した。その他、必要な情報は書面にて頂いて共有している	継続
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			交流はない。交流する機会を作り行っていきたい。	交流する機会を作っていく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			現時点では参加したことはありません。機会があれば参加したいと思う。	継続
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			日々伝えている。情報は基本的には連絡帳で伝えているが直接伝える場合もある。	継続
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			ペアレントトレーニングという名目ではやっていないが個別に必要な指導や助言は行っている	個別的にはやっているが来年度はまず、ペアレントトレーニングの研修を受けて、重心でも対応できるのかを見極めたい。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			行っている。	継続

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				対応している	継続
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				コロナ禍で対応していなかった。今後検討したい。	今後保護者会の開催を検討する
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				苦情に倒しては迅速に対応している	継続
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				会報は発行していないが、必要な事は文章で伝えている	定期的に活動内容を伝えるお便り等を検討する
	③⑤	個人情報に十分注意しているか				十分に注意している	継続
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				コミュニケーション方法は子どもによって違うの出それぞれの方法で行い、配慮している。保護者には電話ライン、直接話す等配慮している	継続
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				コロナ禍でやっていたいなかった。今後検討したい	地域住民との交流等を検討
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				保護者には伝えていなかったのが次年度は周知したい	マニュアルを作成して保護者にもそのマニュアルを配り共有する
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				2か月に1回行っている	継続
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				虐待のセルフチェックをして研修を行った。外部の研修も参加したい	継続
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				身体拘束が必要なお子様はいないが今後必要な子どもが出た場合は計画に記載して行く	継続
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				植物アレルギーお子さん現時点ではないがいた場合は医師の指示書をもらい対応する	継続
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				共有して、繰り返さないようミーティングを行っている	継続

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。